

校長室より

二松学舎大学附属高等学校

校長 鵜飼敦之

「二松から飛翔へ」～一期一会～

学校の魅力発信 ~駅ホームから広がる附属高校の姿~



このたび、東京メトロ東西線上り1番線ホームに、本校・附属高校を紹介する新たな看板が設置されました。

これまで掲出されていた法人全体のイエローを基調とした卒業生等紹介の看板に代わり、今回は附属高校独自のデザインとなっています。スクールカラーであるグリーンを背景に、部活動に励む生徒たちの姿をイメージしたイラストが描かれ、若々しく躍動感あふれる仕上がりです。

駅を行き交う多くの方々の目に留まり、「二松學舎附属高校とはどのような学校なのだろう」と興味や関心を抱いていただくなつかけになればと願っています。

三松学舎大学附属高等学校

東京都千代田区九段南 2-1-32

二松学舎大学

学部 国際学科 / 国文日本・中国学科 / 都市文化デザイン学科 / 歴史文化
国際政治経済学部 国際政治経済学科 / 国際経営学科

数学科 二松

学舍大学附属柏中学校・高等学校

生徒・保護者の皆さまも、ぜひご覧いただき、本校の生徒の活動を感じていただければ幸いです。

生徒の声を生かそう ~生徒会新役員 認証状授与~

新学期早々の9日、昨年11月の生徒会選挙により信任された新生徒会役員7名に認証状を授与しました。会長1名、副会長2名、書記2名、会計2名—いずれも責任ある役職に就く皆さんは、やや緊張した面持ちながらも、真剣な表情で認証状を受け取っていました。

会長を務める2年生の押山さんからは、「学校のために頑張ります」という力強い挨拶があり、頼もしさを感じました。私からは、「立会演説会で自らの言葉として語った思いや提案を忘れず、学校行事や学校生活の改善に向けて、教職員と相談しながら進めていきましょう」と激励しました。また、「校長室にも遠慮なく足を運び、相談や提案を積極的にしてください」と伝えると、皆さんがあなづいてくれたのが印象的でした。

その後、戸張先生の「みんな笑顔で！」の声掛けの下、記念撮影を行いました。新役員の活躍を通して、生徒会行事等がさらに活発になり、本校の生徒活動が一層充実していくことを願っています。



自分に挑む ~伝統の「皇居ラン」始動~

本校の3学期、1・2年生の体育では持久走に取り組みます。2月中旬に予定されている皇居一周約5キロのマラソンに向け、心身を慣らす「準備運動」として、体育の授業での走り込みが始まりました。

9日からは、まず2年生の授業がスタートしました。昨年、経験しているとはいえ、1年ぶりの種目に、期待と不安が入り混じった様子も見られたようです。

私も早速、3・4時間目の授業を見学に行きました。20分を切る好記録を出す生徒がいる一方で、初回はペースを意識しながら、無理なく走る生徒もおり、それぞれが自分の課題と向き合っていました。私は自転車で皇居外周を皆さんと一緒に逆回りに進み、全員に声を掛けることができました。中に



生徒もおり、それぞれが自分の課題と向き合って進み、全員に声を掛けることができました。中には、すれ違いざまにハイタッチを交わす場面もあり、寒さの中にも温かな雰囲気を感じました。

これから本番に向けて練習は続きます。1年生にとっては初めての「皇居ラン」です。皇居周辺の景色も楽しみながら、自分自身の記録更新を目指し、最後まで粘り強く挑戦してくれることを期待しています。